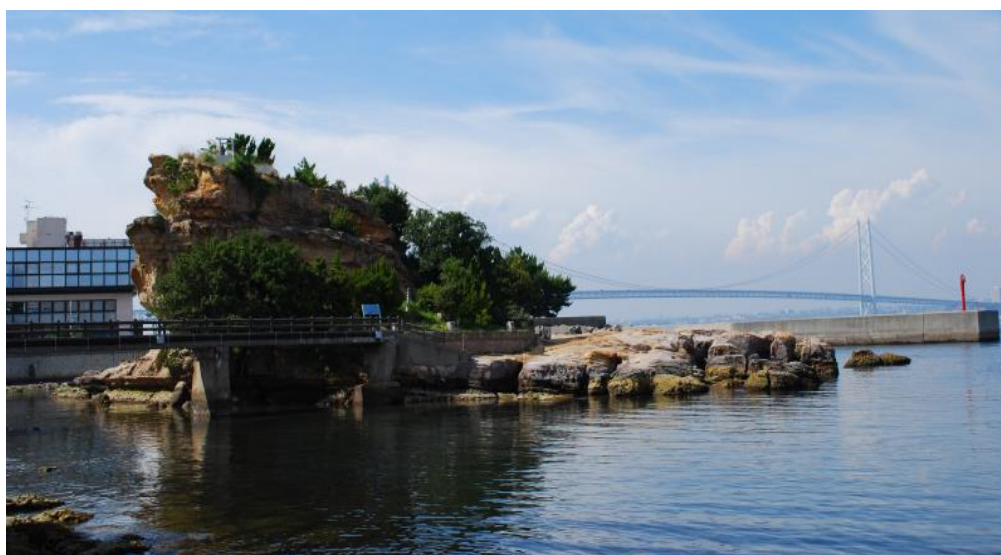




北淡路産業株式会社

2022年度 環境経営レポート

(対象期間：2022年 6月～2023年 5月)



発行日： 2023年7月14日

改定日：

I. ごあいさつ

北淡路産業株式会社は、昭和43年の設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。

全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより美しい国土の維持、人と環境が共存する社会をめざして取り組んでまいります。

環 境 経 営 方 針

当社は、建設工事の各事業分野において、地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境経営の継続的改善に取り組んでまいります。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。（電気、ガソリン、軽油）
3. 廃棄物の削減及び再生利用を推進します。
4. 水道使用量の削減を推進します。
5. その他の環境活動を推進します。
全島一斉清掃及び全県一斉奉仕活動への参加。
6. 人材の確保と育成に努めます。
7. 本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日	2013年5月30日
改定日	2019年9月30日
改定日	2022年5月10日
代表取締役	竹代 克雅

Ⅱ．組織の概要

- (1)

名称及び代表者名
北淡路産業株式会社
代表取締役 竹代 克雅
- (2)

所在地
本社 〒656-2401 兵庫県淡路市岩屋1414
大磯事務所 〒656-2304 兵庫県淡路市浜1-16
谷山資材倉庫 〒656-2301 兵庫県淡路市楠本字中山2672-4
- (3)

環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先
責任者 総務部 吉松 亮太 TEL:0799-75-3600
担当者 総務部 吉松 亮太 FAX:0799-75-3611
E-Mail : yoshimatsu@kitaawaji.co.jp
- (4)

事業内容
土木工事業、ほ装工事業、石工事業、造園工事業、とび土工事業、鋼構造物工事業、
しゅんせつ工事業、水道施設工事業、建築工事業、管工事業、解体工事業

許可番号 兵庫県知事 第801654号 許可年月日 平成30年8月25日
許可期限 令和 5年8月24日
- (5)

事業の規模
設立 昭和43 年 4月 1日
資本金 2千万円
売上高 5.4億円 (2022年度実績)

各事業所の規模

	本社	大磯事務所	資材倉庫	合計
従業員	1名	14名	2名	17名
延べ床面積	46㎡	100㎡	2,500㎡	2,646㎡

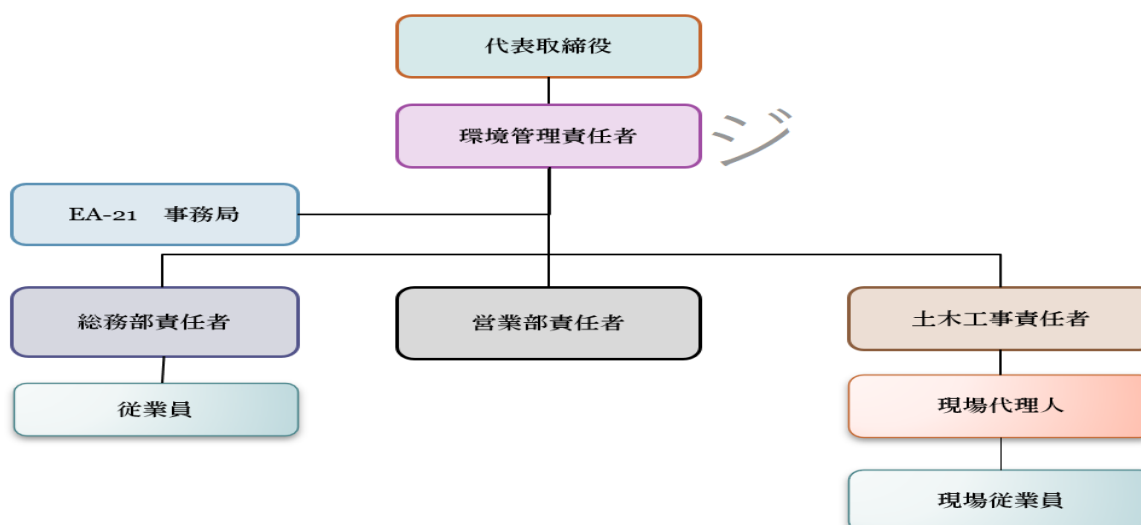
(敷地)

保有車両・重機

種類	大型トラック	中型トラック	乗用車	車両系建設機械	解体用機械	その他建設機械
台数	3 台	7台	9台	1 6 台	6 台	3 台
- (6)

事業年度 6 月～翌年 5 月

(7) 組織



	役割・責任・権限
代表者(社長)	- 環境経営システムの実施についての全ての責任と権限 - 環境管理責任者を任命 - 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 代表者による全体の評価と見直しを実施
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境目標・環境活動計画書を作成 - EA21推進会議の開催 - 環境活動の取組結果を代表者へ報告 - 環境活動レポートの確認
EA21事務局	- 環境管理責任者の補佐 - 環境活動の実績集計 - 環境活動レポートの作成、管理、保管 - 外部コミュニケーションの対応窓口
工事部門責任者	- 自部門における環境方針の周知・目標・活動計画の周知 - 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 環境教育訓練の計画の実行管理 - 環境に関する手順書の作成 - 環境に関する緊急事態の想定、対応手順書の制定、訓練の実施と記録 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
工事責任者 (現場代理人)	- 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 - 建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告 - 建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

Ⅲ. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 北淡路産業株式会社
 対象事業所： 本社、大磯事務所、谷山資材倉庫
 活動： 総合建設業（土木工事業、舗装工事業、石工事業、造園工事業、とび土工工事業
 鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業
 建築工事業、管工事業、解体工事業）

IV. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 基準年度	2022年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	231,690	226,218	213,710	150,173	145,624
電力使用量	k Wh	12,152	12,152	13,215	25,900	14,685
ガソリン使用量	L	14,147	14,147	10,931	10,355	10,582
軽油使用量	L	77,987	73,455	71,375	45,703	45,118
LPG使用量	k g	-	-	-	-	-
廃棄物排出量						
一般廃棄物	kg	400	400	450	460	430
産業廃棄物	t	517.2	248.5	332.2	11.2	63.41
水道水使用量	m ³	72	60	60	56	54
化学物質	kg	-	-	-	-	-

注）電力の二酸化炭素排出係数は関西電力㈱の2019年度の実績値（調整後係数）0.318kg-CO2kWh を使用

V. 環境経営目標及びその実績

（1）中期目標

年 度 項 目		2021年度 基準年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	150,173	148,672	147,170	145,668	144,166
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
電力使用量削減	kWh	25,900	25,641	25,382	25,123	24,864
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
ガソリン 使用量削減	L	10,355	10,251	10,148	10,044	9,941
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
軽油 使用量削減	L	45,703	45,246	44,789	44,332	43,875
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
II. 廃棄物排出量削減						
1) 一般廃棄物 削減	kg	460	455	451	446	442
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
2) 産業廃棄物削減 (混合廃棄物)	t	11.2	11.0	10.9	10.8	10.7
			△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
III. 建設リサイクル率 の向上	%	94.1%	95.1%	96.1%	97.1%	98.1%
	対基準		+ 1 %	+ 2 %	+ 3 %	+ 4 %
IV. 水使用量 削減	m ³	56	55	55	54	54
	対基準		△ 1 %	△ 2 %	△ 3 %	△ 4 %
V. 環境に配慮した 施工の推進	件	1	1	1	1	1
	対基準		現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
VI. 人材の確保と育成		行動目標（後述）				

(2) 2022年度の実績

年 度 項 目		2021年度	2022年度の実績			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂ 対基準	150,173	148,672	145,624	102%	○
			△ 1 %	-3%		
電力使用量削減 排出係数 0.318	kWh 対基準	25,900	25,641	14,685	175%	○
			△ 1 %	-43%		
ガソリン使用量削減 排出係数 2.32	L 対基準	10,355	10,251	10,582	97%	△
			△ 1 %	2%		
軽油使用量削減 排出係数 2.58	L kg-CO ₂ 対基準	45,703	45,246	45,118	100%	○
		117,914	116,735	116,404		
			△ 1 %	-1.3%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	460	455	430	106%	○
			△ 1 %	-7%		
産業廃棄物削減 (混合廃棄物)	t 対基準	11.15	11.04	1.38	800%	○
			△ 1 %	-88%		
III. 建設リサイクル率 の向上	% 対基準	94.1%	95.1%	89.4%	94%	×
			+1%	-4.7%		
IV. 水使用量 削減	m ³ 対基準	56.0	55.4	54.0	103%	○
			△ 1 %	-4%		
V. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	1	1	1	100%	○
			現状維持	現状維持		
VI. 人材の確保と育成		行動目標（後述）				

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 環境に配慮した施工：①環境に配慮した工法の開発、提案、②環境にやさしい資材の採用、③長寿命の資機材への切替え

注4) LPGは些少なので削減活動は推進するが、目標は設定しない。

VI. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減		(目標達成)
(下記の通り)	◎	(下記の通り)
電力使用量の削減		(目標達成)
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	○	熱中症予防の為、盛夏は温度を下けているが、次年度もできるだけ弱冷房・弱暖房を心掛け実践する。
・サーキュレーターの設定	◎	頻繁に使用する部屋には設置を続ける。
・不要照明の消灯	◎	最期に部屋を出る者が消灯することを徹底している
・設備の空運転禁止	○	不使用時の停止を心掛け実践する。
ガソリン使用量の削減		(目標やや未達成)
・アイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	△	無事故無違反を目指す。
・効率的な移動	○	移動の効率化を心掛ける。
軽油使用量の削減		(目標達成)
・重機の空ふかしの禁止	◎	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	○	安全運転を継続する。
・空気圧、オイル等の点検	△	もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。 次年度も、左記取組を継続する。
一般廃棄物の削減		(目標達成)
・分別の徹底	○	淡路市の基準に従い分別を行った。 雑紙・プラスチック分別も徹底。
産業廃棄物の削減（混合廃棄物）		(目標達成)
・実態調査	△	正確な排出量を把握する工夫をする。
・素材ボックスの設置	○	分別を継続する。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置を継続する。
		今後も実態調査を継続しながら、削減に努める。
建設リサイクル率の向上		(目標未達成)
・分別によるリサイクル推進	○	コンクリート塊及びAs・Co塊の最終処分量が多く未達となった。
・仮設資材の再利用の推進	◎	仮設資材を修理することで再利用に努めた。 次年度も、左記取組を継続する。
水使用量の削減		(目標達成)
・節水の周知徹底	○	節水の呼びかけを行ったが、より徹底をはかる。
・節水シールの貼付とポスター掲示	○	簡単なポスター等を掲示した結果意識が向上した。次年度も継続する。
・清掃時・手洗い時の節水	△	より多くの工夫ができるようにする。 次年度も、左記取組を継続する。
環境に配慮した施工の推進		(目標達成)
・環境配慮施工の推進	○	可能な限り環境に配慮した施工を実施した。 次年度も左記活動を継続する。
人材		(目標達成)
・資格取得の奨励	○	監督員資格の受験の奨励した。次年度は作業員資格も奨励する。
・インターンシップの受け入れ	×	当年度は受け入れがなかったが、次年度も募集を行う
・社外講習会への積極的参加	○	業界団体等の講習に多く参加できた。次年度も継続する。

VII. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	一廃収集業者の許可の確認、産廃収集運搬・処理業者の許可の確認・契約 マニフェストの交付、返送期日の管理、保存 A、B2、D、E票の保管（5年間）、B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内に報告 産業廃棄物管理票交付等状況報告、自社による運搬時の表示・書類携行 処分状況の実地確認（努力義務）	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
消防法	消火設備の定期点検、少量危険物の届出・点検	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の点検と記録の保管、フロン類使用機器の漏洩防止、 廃棄時の適切な処理、＜解体工事＞該当機器設置有無の確認、発注者への書面による説明	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な処理	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

VIII. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境活動の取組

- ・3Rの推進 リデュース（減量）・リユース（再使用）・リサイクル（再利用）
限りある資源の活用します。
- ・ガソリン車も低燃費車に順次入れ替え予定です。
- ・水道施設チェックも含めて、節水を心掛けていきたいと思います。

上記をふまえエコアクション21による環境の健全化 経営の合理化によるコストダウンを目指します。

項目	見直し可否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2023年 7月 14日
代表取締役 竹代 克雅

IX. 環境への取組の紹介



<エコアクション掲示版>



<ごみの分別>



<省エネ>
蛍光灯→LED



<環境配慮の施工>
3次基準値排出ガス対策型・超低騒音型バックホウ



<清掃活動>



<消火訓練>